

6月定例会
一般質問

村政を問う



瀬谷 一男議員

◎住民の安全第一に 考慮した施策の実施を

整備中の世界のおじさい園は、四季を通じた誘客の一環として、交流人口の増加・本村の活性化として期待されている。

しかし、5ヘクタールもの山林を伐採・開発により水害・土砂流出が心配される。

今回の測量設計に、調整池整備は含まれているのか。周辺には田畑・水源地・住宅があり、災害発生の前に一日も早く整備すべきと考えるが。



久保木 源議員

◎ジュピアランドひらたの 駐車場建設の早期着工は

県内有数の観光地として定着しているジュピアランドひらた。春の芝桜にはじまり、山ツツジ・ゆり・おじさいと長期間に渡り、観光客の増加が期待される。

進入道路の渋滞をなくし、車両の円滑な走行と安全を確保することが何よりも大事な課題。駐車場早期建設の考えと、次の点について伺う。

- ①本年度芝桜まつり期間中の入場者数は。
- ②芝桜まつり会場への進入道路変更に伴う渋滞の発



根本 定雄議員

◎芝桜まつりセレモニーが なぜ行われなかったのか

毎年10万人を超える集客の実績があり、新聞等のメディアに取り上げられる機会も増えてきた。村民にも観光客にも心地よいふるさと・観光名所ジュピアランドひらたの芝桜まつり。

村のビックイベントの芝桜まつりのセレモニーがなぜ行われなかったのか。

7人の議員が登壇しました 一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。
また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。



A 環境整備・安全確保に努める

▽産業課長

世界のアじさい園整備に関し、県と十分協議し進めてきました。針葉樹を伐採し、広葉樹とあじさいを植林するものであり、開発後も防災面・環境保全が確保できると認められ、許可されたものです。今後、地域住民の皆さんと十分協議のうえ、環境整備・安全の確保に努めていきます。

生・問題点は。

- ③ 駐車場予定地の買収状況と許認可手続きの状況は。
- ④ 来年度、当初予算への計上の考えは。
- ⑤ こども園建設事業との兼ね合いは。

A 住民の意見を

伺いながら進める

▽産業課長

- ① 8万5千人（昨年より9千人減）
- ② 広域農道で約1.5キロメートルの渋滞がありました。進入路変更を知らず警備員とのトラブル・引き返したお客さんがいたと聞いています。
- ③ 第一工区は相続関係の1件を残し、買収済みです。許認可申請は、関係機関と事前協議を進めています。第二工区は第一工区整備後、議会・住民の意見等を伺いながら進めていきます。

▽総務課長

- ④ 用地買収済みの第一工区の整地工事・排水工事にかかる予算5億円程度を計上したいと考えています。財源は過疎債を充て、3年間の年割額を設定し継続費で対応したい考えです。
- ⑤ 今年度中にこども園建設場所を決定し、30年度に設計業務を完了、31年度中に建設したいと考えています。財源は過疎債を充てる計画です。

A 渋滞緩和策の一環

来年は盛会に

▽産業課長

渋滞緩和策の一環として、国道事務所・警察署の指導のもと、芝桜まつり実行委員会で十分協議・検討し決定されたものです。

セレモニー・イベントに対する多くの問い合わせ、来場者も減少したことから、実行委員会と協議を重ね、来年度は盛会に開催したいと考えています。



村内の子どもたちが参加したスマイルアゲインコンサート（昨年の芝桜まつり）



昨年はセレモニーやイベントが盛大に行われた

Q 住宅政策は最優先課題として取り組むべき



高橋 七重議員

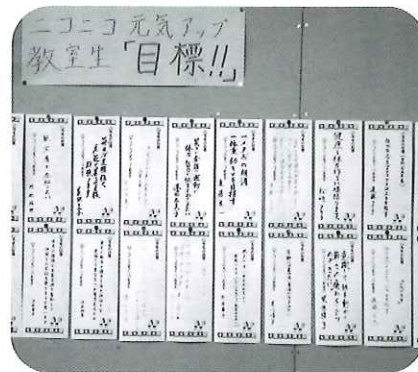
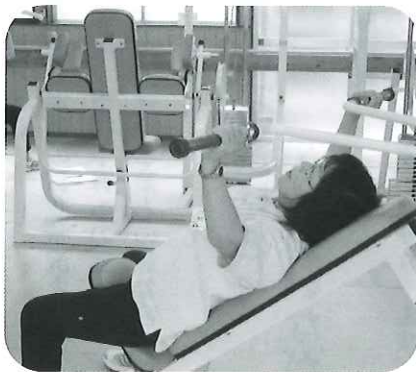
平田村第5次総合計画前半の5か年計画に、住宅政策の実施計画予算はゼロである。切山住宅の跡地活用は、小野高校平田校や蓬田中廢校に併せ一体として考えるとのこと、先送りされた。公営住宅・民間アパートは満室入居待ち状態である。ホームページでの賃貸住宅紹介も、不十分である。住宅政策は人口減少に歯止めをかける最優先課題に掲げ、対策を急ぐ必要があるのではないか。

A 住宅困窮解消に努める

▽地域整備課長

空き家対策助成金（10万円上限）、新築住宅の固定資産税2分の1減免、要介護者等の住宅改修費助成（上限20万円）を行っています。

また、民間賃貸住宅家賃補助事業・民間住宅建設費助成事業の説明会を開催し、全戸回覧で事業周知したところです。民間住宅の空き部屋情報・空き家情報のホームページ発信等、住宅困窮者の解消・定住の促進に努めていきます。



ニコニコ元気アップ教室では、それぞれ目標を掲げ、週2回インストラクターの指導のもと楽しく元気に活動している。（65歳以上が対象 健康福祉課主催）

参加者の声 体重が減った 腰痛・膝の痛みが和らいだ 肩こりがなくなった など

～健康寿命アップのとりくみ～

Q 国道49号線の交通渋滞、危険箇所の対策は



太田 清実議員

国道49号線から一般道へのアクセス箇所特に交通量の多い9か所（①ジューピランドひらた入口、②道の駅南側北屋敷入口、③あぶくま高原道路入口、④ひらた中央病院前曲山方面入口、⑤ボケットパーク前信号、⑥遅沢信号ひらた斎苑入口、⑦消防署入口、⑧沢名小野方面入口、⑨東山方面入口）の渋滞になりやすい場所や危険箇所の対策事業は。

A 国・県に引き続き要望していく

▽地域整備課長

国道49号線は、本村にとって最重要路線であり、国土交通省が維持管理しています。危険箇所解消のため、関係機関へ右折レーン設置や信号機設置要望が考えられます。現在、大隅交差点の改良・路面補修等を国と県に「まちづくり意見交換会」等を通じて要望しています。交通渋滞・危険箇所の解消のため引き続き要望していきます。

Q 芝桜は現状の規模できれいに咲かせることを重点に

第5次総合計画の前半5か年計画では、芝桜の植栽を現在の1.7ヘクタールから2.5ヘクタールに拡張すると記載されている。ここ数年の開花状況は、来場者を魅了するような一面に咲き誇った状態には程遠い。

これ以上、拡張のための植栽はやめて、現状の規模できれいに咲かせることに方向転換すべきではないか。

A 技術向上に努める

▽産業課長

第5次総合計画により、毎年芝桜更新事業により、平成32年度まで目標に向けて取り組んでいます。付加価値の高い施設・通年型施設にするための維持管理、植栽のための拡張整備に努め、きれいな花が咲くよう栽培管理技術の向上に努めています。



Q 国保税の広域化による村の負担・保険税は

平成30年度から、これまでの市町村事業から都道府県が財政運営の責任を負う制度に変わる。しかし、市町村が国保税を賦課徴収することは変わらず、市町村の独自性が薄められ、国保加入者の負担増につながる危険性も指摘されている。

制度改革により

①村の事務は減少するのか。

②市町村の保険料試算の結果は。

③保険税軽減のため、一般会計からの繰り入れは、今後できるのか。

④減税のため一般会計からの繰り入れへのペナルティは。

A 大きな変更ない

▽住民課長

①今回の国保制度改革は、主に財政面のソフト的改革であり、市町村における保険事務に大きな変更はありません。

②今回提案する減額の本算定単価と比べても、少し下がる見込値です。

③今回の改革では、制度上できないこととなります。

④現時点ではありません。今後、動向を注視し適切に対応していきます。

Q 芝山登山道の舗装工事は

芝山登山道の舗装工事内容と今後の日程はどのようになっているか。

A 30年度全線舗装を目指す

▽地域整備課長

芝山登山道（村道1262号）の未舗装区間は約900メートルあります。28年度に周辺の生活道路の整備が完了したので、今年から舗装工事を行い、30年度末までに全線舗装となるよう進めていきます。



今年度前期分として290mの舗装工事が完了した



三本松和美議員

Q 村民の所得向上対策は

本村の村民所得は、県全体や石川郡内でも最下位クラス（福島県県勢要覧）。いつの村政でも変わらなかった。今後重要な課題として所得向上対策が求められるが。

A 雇用創出・出荷販路拡大が所得向上に繋がった

▽税務課長

本村の一人当たりの市町村民所得は、福島県県勢要覧で県内46町村中32位、この県勢要覧の平成18年版と平成28年版を比較すると25万円増です。企業誘致の成功により企業利益の伸び、新たな雇用創出、道の駅誕生による出荷販路拡大、新たな特産品づくり（アスパラガスや自然薯）等の政策が、村民の所得向上に繋がったと思います。

Q 芝桜まつり期間の渋滞解消対策後は

国道の渋滞解消のためにルートを変更し対応した。

①どのような問題があったか。

②3千台収容できる駐車場を進めようとしているが、今回の結果でどのように考えているか。

A 早急に駐車場整備が必要

▽産業課長

①10番久保木議員の質問に対する答弁（P7産業課長答弁②）に同じです。

②渋滞解消策により、来場者が減少したことや不便・不快な思いをさせてしまったこと、例年同様10万人の来場者だった場合にどの程度の渋滞になったかの把握は難しいことなど、反省材料が多くあります。こうしたことから、早急に駐車場の整備が必要であり、村の観光資源の有効活用・雇用確保・産業振興のためにと用地を提供された地権者のためにも整備を進めたい考えです。



今年のGWは交通規制となった

Q 村の奨学金制度は

小・中学校の授業料は無償で親の負担はないが、高校・専門学校・短大・大学進学時には、授業料等の負担が発生する。

現在の奨学金制度は返還が主流だが、国で検討している給付型の奨学金制度を、村独自で導入してはどうか。Uターン等で村に若者が戻り、地域の活性化や交流の促進につながるのでは。

A 十分検証する

▽総務課長

平成30年度に本格導入される国の給付型奨学金制度は、意欲と能力があるが経済的な事情で進学を断念せざるを得ない学生を後押しする制度です。十分検証したうえで、国の制度に上乗せ支援する形で検討したいと考えています。



永瀬 成元議員



約2万株が咲き誇るあじさい

Q あじさい園に

木を植栽してはどうか

あじさい園は、以前は木々が立ちならぶ教育の森だった。伐採により、冬の風向きの変化・強風による芝桜への影響が出ている。あじさいの生育保護と景観を含め、紅葉として観ることのできる木を植栽してはどうか。

A 生育環境の整備に努める

▽産業課長

あじさいの生育環境として、専門家の指導のもと、針葉樹を伐採し広葉樹を植栽してきました。数年後には、あじさいと共にイロハモミジやナナカマドなどの素晴らしい紅葉がみられるものと思います。また、「世界のあじさい園」にふさわしい環境整備に努めていきます。



第1期工区で3.8haを整備する予定
(ジュピランドひらた駐車場予定地)



渋滞により路肩に車を止め歩く姿も…
(昨年の芝桜まつり)

Q 一人暮らしの高齢者住宅を

一人暮らし高齢者が増えている今日、バリアフリーで見守り支援ができるシェアハウスの施設を、地域福祉センターの近くに必要と思われるが、村の考えは。

A 廃校校舎の

利活用等も検討する

▽健康福祉課長

一人暮らし高齢者の安全の確保・不安解消のためにも、シェアハウスのような高齢者住宅の必要性を感じています。廃校校舎の利活用等も含め、検討していきます。

Point

*バリアフリーとは…

高齢者や障がい者が社会生活を送るうえで、生活の支障となるものを取り除くことです。現在では、社会制度、人々の意識、情報の提供等に生じるさまざまな障壁を含めて、それらを取り除くことを指します。

*シェアハウスとは…

リビング・台所・浴室等は共同利用し、自分の部屋を持つことができる賃貸住宅のことです。共同住宅ならではの「共有」と「交流」を楽しめるあたらしい住まいの形として、近年日本でも注目が高まっています。

▼各常任委員会を6月8、9日の2日間開催し、提案されている議案等の内容、各課所管業務の進捗状況について、関係各課長等から説明を受けました。

各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

【文教厚生常任委員会】

◎総務課所管

Q ジュピアランドひらた駐車場拡張について、1工区の完成予定は平成32年度となっているが、過疎債を充てるのか。

A 過疎債を充て、1工区だけである。

Q 芝山展望台整備費の、村の負担は。

A 一部負担する見込み。

Q 芝山（猿子平）の風力発電は、頂上周辺の平地に設置されることはないか。

A 調査を行っている土地は、上三坂牧野組合で貸している。

◎税務課所管

Q 前年と比べ、収納率が良い。毎月徴収の成果か。

A 村民税に関し特別徴収に力を入れたことにより増す。

◎健康福祉課所管

Q 人間ドックの無料化を想定した場合の受診率はどのように考えるか。

A 受診率が30数%であるが、伸びは一概には答えられない。

Q 子どもの貧困について、村での対応は。

A 県の指導を基に対応したい。

Q 安定ヨウ素剤は現在も保管しているのか。

A 原発事故当時のものは期限が切れたため引き払った。現在は40km超えた地域には配付されていない。

Q 認知症支援の対応を、早期に対応できるようにお願いしたい。

A 軽度のうちに対応できる体制づくりに努める。

◎産業課所管

Q ジュピアランドひらた駐車場拡張関係の各種申請、協議の進捗は。

A 農振除外は、総合見直しによる除外を検討している。林地開発も協議中。大規模開発は容認済みである。

Q 2工区の用地取得費7千600万円について、1工区と同じ買収単価か。

A 1工区は2年前の不動産鑑定価格で算出した。2工区は、1工区の進捗状況、他の予算との兼ね合いを見て検討したい。

Q 今年の芝桜まつりは交通規制したが、来年度は。

A 来年度は、実行委員会でも協議し良い方向になるよう検討したい。

◎地域整備課所管

Q 公営住宅家賃は上がることもあるのか。

A 所得に基づき算定される。

れます。若者向け住宅は3万8千円固定ですが、年齢制限があります。

Q 住宅家賃の滞納について、退去者との連絡は。

A 遠方の方もおり、文書送付が主体です。悪質滞納者については、弁護士との協力を得て、法的措置も検討する段階と考えています。

Q 簡易水道事業の本管布設替え事業は、残りあとどれくらいか。

A 石綿管更新は今年度事業が完了すると、残り3km程度です。

Q あぶくま高原道路の無料化は進んでいるのか。

A 県では、起債償還の終了後に無料化すると説明している。

◎教育課所管

Q 建築中のひらた清風中の校庭側にある残土（約7千㎡）は。

A 校舎本体と体育館の床掘の際に発生した

土です。

Q こども園の建設について、約10億円程度事業費をみているとのことだが、場所は1か所それとも2か所なのか。

A 今後、検討委員会で検討される。

◎文教厚生常任委員会

現地調査として、ひらた清風中学校校舎・屋内運動場建築工事を視察しました。

平成29年6月完成予定のひらた清風中学校について、子どもたちの学校生活での安全対策に努め、保護者・学校と共通理解を図り、様々な状況へも対応できる取組に努めるよう要請しました。

また、現在作成中の第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業

計画について、生涯を通じた健康づくり対策、壮年期の生活習慣病予防対策を、第5次総合計画と関連した計画で進めるよう要請します。さらには、平成30年度から始まる国保広域化について、今後も疾病予防対策の保健事業を積極的に進めることを要請します。



中学校建築工事の視察

【総務経済常任委員会】

◎総務課所管

Q平成30年度採用職員
の予定人数は。

A若干名。現在のところ
申込者がいない。

Q職員が多忙で代休も
取得できない状況。
時間外勤務手当を全
額支給すべきではな
いか。

A今年度から代休整理
簿を作成し、代休・
振休の割振り、時間
外手当を支給してい
る。

Qこども園建設につい
て、庁内でも検討を
諮るべきではないか。

A職員プロジェクト会
議の結果をまとめ、
検討委員会に参考資
料として提出してい
る。

Q平成29年度末の減債
基金残高3億5千万
円の積立の財源は。

A平成28年度の繰越金
を、財政調整基金と
減債基金に積み立て
る。

◎税務課所管

Q収納状況について、
所得の向上がみられ
たのか。

A前年度と比較すると、
住民税が1千345
万8千円増であり、
所得の伸びと考えら
れる。

◎住民課所管

Qタクシー利用料金助
成は、一人で何度利
用しても良いのか。

A何度でも利用できる。
Qどのくらいの利用者
がいれば、来年度以
降の継続となるのか。

A住民の反応をみて継
続するかどうかを検
討したい。

Q消防用ホーススイ
チ（巻上げ機）は、
要望すれば設置可能
か。

A要望があれば対応し
たい。

◆要望

・消防団だけでなく他
の団体も含め、組織
の見直しを行う必要
がある。

・医療費が高騰してい
る。削減のため、関

係機関と連携し、今
まで以上に検討して
欲しい。

◎健康福祉課所管

Q健康診断の500円
負担について、無料
化できないか。

A過年から値下げを行
ってきた経過がある。
無料化により受診率
が伸びるとは考え難
い。他町村では無料
化をやめたところも
ある。

Q村内での透析患者数
は。

A18名。医療費は月30
〜50万円程度。

Q医療費抑制の働きか
けも必要では。

A健民カードへの取組
等を通じ行いたい。

Q集団検診時の肝炎ウ
イルス検査は1回の
みか。

A1回のみ。他機関で
の実施は可能である。

◎産業課所管

ヘジューピアランドひら
た駐車場拡張関係
Q土砂流出防止策の流
末水路整備は、1工

区の工事だけでも行
うのか。

Aまずは水路の整備を
行ってから1工区工
事と考えている。

Q2工区の7千600
万円で取得する土地
の地目は。

Aほとんどが畑、一部
山林。

Qヘジューピアランドひら
た作業員の就労・接
客態度が悪いなどの
声が聞かれる。

A今後、改善したい。
Q新農業委員会制度に
ついて、女性も委員
となれるような組織
作りが必要。

A周知はしたが、募集
がなかった。今後の
課題である。

Q農業振興地域の見直
しが必要。今までの
所有者個人の考えだ
けでなく集落での議
論の必要があるの
で。

A8月まで協議するの
で、配慮し進めたい。

Q花卉・野菜振興事業
について、機械化の
フォローアップが必
要では。

Aまずは栽培方法を広
め、経済栽培のステ
ップとなるときは支
援を考えた。

Q自家産保留牛の村補
助金を現在の倍の3
万円に出来ないか。

A自家保留牛が非常に
多くなっている。今
後の検討課題である。

◎地域整備課所管

へ村道逆水論田線につ
いて

Q全体事業費と年次計
画は。

A全線で15億円程度の
事業費。31年度工事
着工、36年度完了予
定。

Q県代行業事は村負担
金が発生しないのか。

A発生しない。ただし、
県が実施するのは下
層路盤工までの改良
工である。

Q用地買収計画は。

A小平工区の暫定盛土
区間以外の箇所につ
いても用地測量業務
を発注し、駒形工区
は30年度に実施予定。

◎教育課所管

Q就学援助費について、
国は入学支援費を2
倍に引き上げたが、
本村では。

A国の基準にならない、
支給要綱の改正を行
っている。

総務経済
常任委員会

現地視察として、村
道鴛子後川線道路舗装
修繕工事（小松原大柿
地内）など、村内12カ
所の視察を行いました。

道路工事等は、安全
確保を図り、細心の注
意を払うよう要請しま
す。

また、観光は観光公
害（交通渋滞・風紀の
乱れなど）への懸念や、
恩恵が一部の利害関係
者に留まり、地域全体
で恩恵を享受できてい
ません。行政・住民・
商店街・農業従事者な
どの多様な参画により、
各々の意向が反映され
る仕組みづくりを進め
るよう要請します。